

夕刊 警城時報

行發日六
印刷所 警城時報社
印刷部 警城時報社
電話 警城時報社
一、口腔外科
二、レントゲン科
三、中野齒科
平市町(電五〇九)
院長 中野 惠次

本紙の慰問特輯號に 郷土勇士からの禮狀

諸君、時下春暖の候、貴社社務々御隆昌の段誠に慶賀至極に存候、降而私事今事變に當り一昨年十一月恩命の御命に浴し勇躍征途に上り爾來約十ヶ月〇〇部隊に屬し中支の野に終始第一線にのみ行動して御奉公の一端を果し得たるはこれ偏に貴社及後市民皆様の絶大な御援に因るものと信じ居り候、加ふるに負傷に就きましても非常の御慰慮を蒙り御厚情に只嘗感佩能は候、又此度は慰問特輯號を御發行相成り御恩送を賜はり難有御禮申上候、御禮にて我が平市は教育に生活刷新に又物資節約並に貯蓄勸行等の各般に耳り和衷協同大平市建設向上發展に邁進せられ今や隆々として伸張し近代文化の都の形を呈せし、一方に於ては總ての不自由御苦も戦線に思ひを寄せて物心總動員下、國策の第一線に御精勵になられあるを思ひ非常の悦びと感謝あるのみならず、殊に貴社一方ならざる御活動並に市當局各位の御努力に對し深甚の敬意を表する次第に候、私も一日も早く退院し後後一人として第一線の御奉公を致し延ばし以て貴社及び市民皆様の御厚意の萬分の一に酬ひ度心に御座候、終りに貴社の益々御隆昌と社長殿

を御始の社員各位の御健闘を切に御祈り申上候、先は不取敢御禮々々々の御無沙汰御詫迄
(東京市警備區區代目日本赤十字病院一號病棟、藤原吉五郎君より)

本縣から七件提出

十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

戦歿軍馬慰靈祭

佛敎同志會主催で執行
平市佛敎同志會では七日の愛馬
記念日に當り午後一時から九品
寺で支那軍戦歿死軍馬の慰靈
軍馬祭を執行することとなつた
法要次第の通り
一、着席 二、挨拶 三、導師は七日午前十時から新町如來
御上堂 四、明治天皇御製奉
御上堂

豆債券賣行き上々
二日間割當の半分を賣る
平局の第十回支那事變慰靈券
は昨五日から賣出したが既に十
日も前から申込みのあつた豫約
分と當日窓口で受けたのを合
せ第一日には二百九十九枚、
第二日の今日には正午までに五
十枚を賣つた

昭和人絹 賃金値上げ
三千名従業員に春朗か
鋪村昭和人絹工場では物價騰貴に於て執行し翌十三日午後一時
に對應し来る十日から初任給を四分の列車にて改し四倉町に
男工は十錢、女工は五錢乃至十
錢の値上げを行ふこととなつた
同時に三千従業員の増給を行
ふ

血兵金寄付
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

痴漢捕はる
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

英靈無言凱旋
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

前借踏み逮捕
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

夏非常會議
夏非常會議では此程開かれた
夏非常會議で協議員を改選した
阿部義美、矢吹文男、大友茂
平、山崎善八郎、山崎市五郎
山崎武平、佐久間寅吉、矢吹
彌右工門

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

夏非常會議
夏非常會議では此程開かれた
夏非常會議で協議員を改選した
阿部義美、矢吹文男、大友茂
平、山崎善八郎、山崎市五郎
山崎武平、佐久間寅吉、矢吹
彌右工門

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

植田警防團長會
植田警防團管内二町十八ヶ村の警防
團長會議は六日植田署で開き警
防協會結成、活動範圍等を協議

臨時人夫奇禍
平署電力區臨時人夫夏井村上大
越木田元治(三二)は昨四日午後
四時ごろ驛構内借所附近でケ
レにはねとばされて頭部に重傷を
負ひ高久病院にがつき込まれた
が間もなく絶命

平市人事錄
出生 大町二一當時多賀郡
藏原町早立増藏氏七女琴さ
ん、長橋町一五當時東京市
葛飾區上平井町高原平七郎
氏三男繁
◎婚姻 仲間町一高橋一男
氏(二八)鋪村大字中田水谷
氏(三三)
◎死亡 才拙小高久又三
郎さん(五六)鋪村町三四鋪
木カツさん(二九)一丁目二
一殿塚からさん(一九)材木
町一當時神谷村鋪田二面
首さん(五一)、警城跡三齋
藤モトさん(七一)

天氣豫報
今晩は北東の風雨
明日は北東の風曇小雨

御誂ご既製品
男女新學期洋服
平二、電三八六番

横田民彌翁
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

痴漢捕はる
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

英靈無言凱旋
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

前借踏み逮捕
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

血兵金寄付
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

昭和人絹 賃金値上げ
三千名従業員に春朗か
鋪村昭和人絹工場では物價騰貴に於て執行し翌十三日午後一時
に對應し来る十日から初任給を四分の列車にて改し四倉町に
男工は十錢、女工は五錢乃至十
錢の値上げを行ふこととなつた
同時に三千従業員の増給を行
ふ

豆債券賣行き上々
二日間割當の半分を賣る
平局の第十回支那事變慰靈券
は昨五日から賣出したが既に十
日も前から申込みのあつた豫約
分と當日窓口で受けたのを合
せ第一日には二百九十九枚、
第二日の今日には正午までに五
十枚を賣つた

戦歿軍馬慰靈祭
佛敎同志會主催で執行
平市佛敎同志會では七日の愛馬
記念日に當り午後一時から九品
寺で支那軍戦歿死軍馬の慰靈
軍馬祭を執行することとなつた
法要次第の通り
一、着席 二、挨拶 三、導師は七日午前十時から新町如來
御上堂 四、明治天皇御製奉
御上堂

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

東亞新秩序の建設と帝國海軍

海軍省海軍事務普及部
列國海軍々備充實
(一)艦船 英國は近時海軍の處
に於ける外交上の退却を余儀
なくされてゐる事を畢竟する
に主として軍備の不足に基因
するものと見做して國防力
再建を決定し、昭和十年(一
九三五年)初頭初めて國民に
關する白書を發表して國民に
訴へたが、昭和十一年春に

驅逐艦及潜水艦は着々
に急速増勢する
D 艦隊航空隊は數箇年内
に整備する
E 其の他艦隊を著々
に整備する
而して昭和十二年二月には彼
の十五億ポンド(邦貨二百五
十五億圓)に上る巨額を國防
費を以て五ヶ年計で軍備の
充實を促進する事となり、理
に當り實行中であるが、其の
完成時期たる昭和十七年(一
九四二年)頃迄には少くとも
艦隊内艦船を以て百五十萬噸
以上を保有し、艦隊超過艦を
加ふれば二百萬噸に達するとす

る大海軍を持つこととなり、
主力艦二十五隻以上を基幹と
する大海軍の建設を實現する
ものと推定される。
更に昨年十二月十三日チエ
ンパレン首相は外國新聞協會
總會に於て、軍備計畫促進の
演説を行ひ、「英國は單に英
本國のみならず大英帝國の構
成部分たる各自治領及び植民
地並に我々と緊密關係にある
友邦を防禦すべき義務を有し
てゐる、之が爲には目下進行
中の再軍備計畫を一段と促進
せねばならぬ」と陳べてゐる
事は注目される。

右は茨城縣助川町生れ左官職高
須翁(二八)と判明検査した
臨時人夫奇禍
平署電力區臨時人夫夏井村上大
越木田元治(三二)は昨四日午後
四時ごろ驛構内借所附近でケ
レにはねとばされて頭部に重傷を
負ひ高久病院にがつき込まれた
が間もなく絶命

平市人事錄
出生 大町二一當時多賀郡
藏原町早立増藏氏七女琴さ
ん、長橋町一五當時東京市
葛飾區上平井町高原平七郎
氏三男繁
◎婚姻 仲間町一高橋一男
氏(二八)鋪村大字中田水谷
氏(三三)
◎死亡 才拙小高久又三
郎さん(五六)鋪村町三四鋪
木カツさん(二九)一丁目二
一殿塚からさん(一九)材木
町一當時神谷村鋪田二面
首さん(五一)、警城跡三齋
藤モトさん(七一)

天氣豫報
今晩は北東の風雨
明日は北東の風曇小雨

御誂ご既製品
男女新學期洋服
平二、電三八六番

横田民彌翁
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

痴漢捕はる
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

英靈無言凱旋
四倉町本町消防組副組長横田民
彌翁は承らる病氣中のところ五

前借踏み逮捕
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

血兵金寄付
平署では東京大井署の手配によ
り東京某料理店から前借を踏倒
した河野咲子を小名濱町沖見町
鈴木トメさん方へ立寄つたとこ
ろを逮捕

昭和人絹 賃金値上げ
三千名従業員に春朗か
鋪村昭和人絹工場では物價騰貴に於て執行し翌十三日午後一時
に對應し来る十日から初任給を四分の列車にて改し四倉町に
男工は十錢、女工は五錢乃至十
錢の値上げを行ふこととなつた
同時に三千従業員の増給を行
ふ

豆債券賣行き上々
二日間割當の半分を賣る
平局の第十回支那事變慰靈券
は昨五日から賣出したが既に十
日も前から申込みのあつた豫約
分と當日窓口で受けたのを合
せ第一日には二百九十九枚、
第二日の今日には正午までに五
十枚を賣つた

戦歿軍馬慰靈祭
佛敎同志會主催で執行
平市佛敎同志會では七日の愛馬
記念日に當り午後一時から九品
寺で支那軍戦歿死軍馬の慰靈
軍馬祭を執行することとなつた
法要次第の通り
一、着席 二、挨拶 三、導師は七日午前十時から新町如來
御上堂 四、明治天皇御製奉
御上堂

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

本縣から七件提出
十五、六日の市長會議へ
来る十五、六兩日市公會議に開する各
催される東北六縣北海道市長會議
議を前にし本縣市長會は四、五
兩日若松市に開かれ平市から伊
藤助役、酒井主事出席したが四
市提出議案は十數件に上つた、
このうち時局と最も關係深い
職業紹介所地元経費全免、警
防團補助金交付
及
癩患者強制收容、東北水線復
線施行促進
等七件を提出することになり目
長會議に提出することになり目
下若松市當局で論議を急いで居
り、更に二十五日頃仙臺市で開
催される全縣市長會議には前記
七件のうちから二件を選び提出

一日一言

野澤武藏

次官の視察と還元派の沈黙

工藤政務次官一行の平小鐵道線視察に際し、湯水線関係者の陳情と、同一路線で沿線警備、玉川村民が鐵道敷設反對の運動を行ったのも珍風景であつたが、平市會の野澤、進治正副議長始め、所謂白紙還元と稱する運動に組する市會議員が一名も顔を見せないのも奇怪であつた。

白紙還元運動を行つた彼等の主張する理由は「運動に依つて促進を阻害するから、どちらでも早く鐵道を敷設するやう」と云ふ意味だつたと記憶する、然るに片濱町村に平小鐵道片濱經由實現期成同盟會なる促進團體が生れ、運動を開始するや狼狽して「コン」と上京「平市は白紙で御座います」と可笑しな陳情して大臣秘書官から「前に来た片濱の陳情と同じでせう」とひやかされた事實などもあつた。

今工藤政務次官を動かして東鐵建設所長等の豫定線視察を實現せしめたのは、星代議員の熱心な運動に外ならないが、一行は独自の立場で視察したことには間違ひないから、星代議員に遠慮して顔を出さなかつたものもあるまいと思ふ、殊更財政難の市費を投じ前後二回も上京陳情の判らない陳情して市民の非難攻撃を受けるよりは、次官一行來平の機会を利し、促進の陳情でも行つたら旅費は備かるし市民から色眼鏡視されてゐたことも自然解消されたのではあるまいか、白紙還元運動を主張した一部市議の行動には鬼角公明を缺くのはないか? 風説に依る縣參事會問題などもその真相を探索すれば確かに市民に御



コンホーク
塩豚
平市田町
三三三三三番
電話三三三番

ウレシイ
新入學期
ランドセル
皮代用 1.90 - 3.30
皮製 3.70 - 9.80
手提鞆
男子用 75 - 2.70
女子用 1.30 - 4.00
學生帽子 33 - 68
豊富陳列
ツルヤ
電一四〇

宮内省、陸海軍省御用品
栄養元
定價
十二錢
二十錢
四十錢
六十錢

事變下の今日國民地位の向上は國威發揚の重大要素であります、今回新發賣の「榮養元」は特に此の点につき多年研究の結果、昆布、ハイカラ其他の有効成分のみを獨特の製法により精製したる理想的榮養國民食糧であります。

福島、茨城縣下發賣元
(野村生命保險株式會社代理店)

海陸物産委託問屋 安孫子才三郎
平榮養元販賣店
長橋町 仙 丸 研
三丁目 丸 北 丸 丸
同 丸 丸 丸 丸
南町 丸 丸 丸 丸
五丁目 丸 丸 丸 丸
新川町 伊 勢 屋 木 店 店 店 店

昔昔その昔
料理御
加賀百萬石のお殿様が
青田の稻を刈取らせ
田毎・田毎の水田
にうつさる月影を
賞でたさうな
こんな意味から
名付けた新田町の
「田毎」へ愈々ハコが
入るやうになりました
ごうぞ御最願ひます
町三 市六 平電
二 三 六

モリス
お洗濯の時機に「モノ」を
市内有名洋品店
手洗店にあり
洋品店にあり

お洗濯の時機に「モノ」を
市内有名洋品店
手洗店にあり
洋品店にあり

住込見習工募集
可成本年高等小學校卒業したる者
平月見町
會社 佐藤鐵工所
電話三六二番

牛鍋 石川亭
平市田町(電話四三三番)
○御家族連れ御歡迎
○大小宴會は特に勉強致します

漢布方百草根
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸龜商店
平市大町 電話一三三番

野中洋品店
三五話電・二平
大小宴會には……
ぜひ小瀧へ……
鐵道省指定
「礦泉旅館」小瀧
【小名瀧一〇三番】

お物菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目
電話一四一番
配達人至急入用 年齢不問、住込の事

三井文吉
昭和十四年四月六日
故三井ミキ大刀自葬送に際しては御鄭重なる御玉串料を賜り且つ御多忙中にも不拘遠路態々御會葬被成下候段難有奉謝候一々拜趨の上御禮可申上筈の處乍略儀書狀を以て御禮申上度如斯御座候